

呉～大阪線（呉ドリーム大阪号）において発生した事象の再発防止策について

平成 29 年 1 月 21 日（土）、中国ジェイアールバス株式会社（本社広島市 代表取締役社長 前田昌裕）が運行する呉～大阪線（呉ドリーム大阪号）において発生しました、運転係の体調不良により長時間にわたりお客様を車内でお待たせしてしまった事象について、お客様及び関係者の皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたことを改めてお詫び申し上げます。

このような事象を二度と発生させないために、以下のとおり再発防止策を実施してまいります。

1 発生原因

- (1) 運転係が体調不良のため、休憩を目的として、臨時に福山サービスエリアに停車したが、定められた点呼執行者への連絡を行っておらず、また、点呼執行者も運転係から所定の連絡が無いにも関わらず確認の連絡を行っていなかった。
- (2) 運転係が仮眠中の連絡方法（インターホンの利用）について案内すべきところ案内をしておらず、お客様が異常に気が付いた際、運転係への連絡が取れない状況となっていた。

2 再発防止策

- (1) 社員（運転係、点呼執行者）間の連絡・確認の取り扱いの再徹底（実施済）
- (2) 点呼執行者の確認をサポートする仕組みの整備
 - ① 点呼執行時刻チェック表の改善（実施済）
 - ② 高速夜行バスの運行監視（モニター）室の新設（3 月開設目途）
- (3) 車内での案内等の追加
 - ① 仮眠休憩やインターホン取り扱い方法の案内表示（実施済）
 - ア、シートポケットへの案内の挿入
 - イ、インターホン付近への案内表示の貼付
 - ウ、仮眠休憩時に運転席ハンドルへの案内表示の掲出



- ② 車内の自動音声案内に仮眠休憩の説明及びインターホンの取り扱い方法の説明を追加（2/14 より実施予定）

以上の対策の徹底を図り、再発の防止に社員一丸となり取り組んでまいります。